

会議記録

- 1 名称：令和3年度 第1回小松市環境審議会
- 2 日時：令和3年10月2日（土）14:00～15:30
- 3 場所：小松市民センター2F セミナールーム
- 4 資料：別紙のとおり
- 5 内容（概要）

事務局	<p>本日は大変お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>開会に先立ちまして、お願いがございます。</p> <p>携帯電話の電源を切っていただけますか、もしくはマナーモードにさせていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、ただいまより、令和3年度第1回小松市環境審議会を開会いたします。</p> <p>ただいま17名中12名の出席をいただいております。</p> <p>小松市環境審議会規則第3条第2項で規定しております過半数に達しており、審議会は成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>なお、本日の審議会は、1時間から1時間半を予定しております。</p> <p>それでは会議に入ります前に、小松市長がご挨拶を申し上げます。</p>
市長	(挨拶)
事務局	<p>本会議は、今年度初めての開催となりますが、各団体の組織変更等により、新しく環境審議会議員になられた方をご紹介いたします。</p> <p>(委員紹介)</p> <p>(資料・タブレット操作方法確認)</p>

	<p>それでは審議に移らせていただきます。</p> <p>ここからの進行は、審議会規則第3条第1項の規定によりまして、会長にお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、会長よろしくお願ひいたします。</p>
会長	<p>この審議会は、市長から諮問のあった項目について審議いたします。委員の皆様は、様々な分野でご活躍でございますので、それぞれの立場や視点からの活発なご意見をお願いしたいと思います。</p> <p>本日の審議事項は、お手元の次第書にもありますように、今回市長から諮問がありました、議案第1号「ごみ減量化・リサイクル率向上に向けた制度見直しについて」</p> <p>議案第2号「第2次地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の見直しについて」となっております。</p> <p>また、報告事項としましては、</p> <p>報告1「ゼロカーボンシティ宣言について」</p> <p>報告2「気候非常事態宣言について」</p> <p>報告3「二酸化炭素排出削減のための補助制度について」</p> <p>報告4「小松市役所地球温暖化対策実行計画について」</p> <p>があります。</p> <p>これから、議事に入ります。本来なら審議事項、報告事項の順に進めるところですが、市長が途中退席されると聞いておりますので、市長が退席される前に、報告1と報告2を先に説明願ひたいと思います。</p> <p>それでは、報告1「ゼロカーボンシティ宣言について」と報告2「気候非常事態宣言について」市長より思ひを説明願ひます。</p>
市長	<p>8月25日に小松市ゼロカーボンシティ宣言を表明させていただきました。</p> <p>スローガンとして、100年後の小松に残したい、自然がある、伝えたい文化があるということで表明をさせていただきました。</p> <p>先ほどからも申し上げておりますけれども地球温暖化が原因と見</p>

られる気候変動がありまして、様々な影響が、世界各国が起きており、日本においても予断を許さない状況がございます。様々な集中豪雨・台風等も影響されることであろうかと思いません。

そういった気候の激変は、この小松の、四季折々とした豊かな風土にも影響を与えかねないというふうに思っております。

そんな中で、国、或いは、世界の動きをとらえまして、ゼロカーボン宣言というものをさせていただきました。

やはりこの小松において、先代から受け継いできたふるさと小松の自然と文化を未来に引き継いでいく責任が我々世代にあるというふうにとらえておりますし、我々のこうした未来の子供たちへ思う気持ちも、しっかりとこの世代に残していく、そういった意味でも、市民、事業者、市が協働して、脱炭素社会に取り組むことが必要だというふうに思い、今回宣言をさせていただきました。

合わせて気候非常事態宣言でございます。

こちらは、9月24日に市議会で、市の方でいたしましたゼロカーボンシティ宣言に合わせて、活発な議論をしていただきまして、市議会の方が先に、気候非常事態宣言決議ということをしていただきました。

これを受けまして、市としても、やはり議会とも協調してやっていく必要があるということで、同じく、気候非常事態宣言ということをしていただきました。

この宣言だけでなく、様々な中で、取り組んでいきたいというふうに考えております。

もちろん、今日ご審議をいただく件もそうではありますが、市としても、これから北陸電力との協定を結ばさせていただきます、北陸電力とも様々な形で、このゼロカーボンシティに向けた取り組みを進めていきたいというふうに思っておりますし、先日、10月1日からはですね、海洋プラスチックごみの問題ということもありますので、そういった活動していただいている方

	<p>により積極的に、また負担なくしていただけるような制度も、改めて設けさせていただきました。</p> <p>本当にこの、気候非常事態宣言、ゼロカーボンシティを目指すというのは、市単独でできるものではございません。</p> <p>本当に市、或いは市議会、そして事業者、市民が、一体となって取り組む必要があるというふうに思っておりますので、是非とも、そのことに向けて取り組んでいきたいと思っております。様々な形で、またご指導いただければというふうに思っております。</p> <p>その中でも、やはりこのごみの問題というのは非常に大きいというふうに考えております。</p> <p>可燃系のごみを削減していく、効率的に燃焼をいうことも、非常に必要なことだというふうにもとらえておりますので、今回、ごみの減量化に向けたことも、審議会に諮問させていただいて、また市民と一緒に、より良い制度を作っていきたいという思いでございますので、どうか環境審議会の皆さまにおかれましては活発なご意見をいただきまして、新しい制度に向けた答申をいただければというふうに思っております。</p> <p>簡単ではありますが、以上でございます。</p> <p>(資料に基づき説明 P.2～5)</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>市長は公務があると聞いておりますので、ここで退席されます。もし、市長が退席される前に質問がございますか。</p> <p>(無し)</p> <p>(市長退席)</p> <p>小松市の広報にも宣言について宣伝されておりましたが、広報を見ていない人もいるかと思っております。事務局にて広報以外のPRは考えているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今ほど、ゼロカーボンシティを8月25日に、小松市が全国の</p>

	<p>439 番目の自治体として宣言したと、市長が説明いたしました。</p> <p>また、9月24日、市議会の最終日、市議会が気候非常事態宣言を決議され、それに合わせて、小松市としても一緒に取り組むという姿勢を明確にするため、気候非常事態宣言を表明したところでございます。</p> <p>今ほど、会長ご案内の通り、まずは市民の皆様に、10月1日の広報こまつをもって、ゼロカーボンシティを、みんなで取り組んでいこうということで、特に家庭で取り組める細かな事柄につきまして列記し、そして、それぞれのご家庭で、まず取り組んでいただきたいというところについて広報したところでございます。</p> <p>今後は、家庭だけじゃなくて、事業者、そして市、市議会みんなで、より良い効果的な、そういうゼロカーボンに向けての取り組みについて、進めて参りたいと思っております。</p> <p>10月号の広報におきまして、後ほど説明いたしますけれども、新たな支援制度を創設いたしました、また、拡充もいたしました。</p> <p>そういったようなところで、今後またこの環境審議会におきましてより良いご提案があれば、市としても真摯に受けとめて取り組んで参りたい、そういうふうに思っておりますのでよろしく願いいたします。</p>
委員	<p>ゼロカーボンシティ宣言は、全国439番目ということなんですけども、県内の市町村ではどのくらいの宣言をしているか。</p>
事務局	<p>石川県の自治体で、ゼロカーボンシティの宣言をしている自治体は、金沢市、白山市、加賀市、4番目で、小松市が宣言をいたしました。</p> <p>また気候非常事態宣言につきましては、北陸初ということで、北陸で最初に小松市が、気候の非常事態を宣言させていただいて、この2つの宣言によって、取り組んで参りたいというふうに考えてございます。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>

<p>会長</p>	<p>他にございませんか。</p> <p>後ほどの議案にも関係してくるので、また、ご意見ありましたらお願いいたします。</p> <p>これから、審議の方に入りたいと思いますが、審議事項の進め方については、説明が終了した後、一括してご意見、ご質問等を頂戴したいと存じますので、どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、議案第1号「ごみ減量化・リサイクル率向上に向けた制度見直しについて」事務局より説明願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>(資料に基づき説明 P.6～24)</p>
<p>会長</p>	<p>ただいま事務局から説明ありました第1号議案について、皆さん、ご意見、ご質問等ありましたらお願いです。</p>
<p>部会長</p>	<p>いろいろ、専門部会として、重い宿題をいただきましたが、最後のところ、ごみ減量化と主な対策、現状ということで、最後、多分7Rの推進などを図っていますと書いてあります。</p> <p>今現在の小松市としては、7R、実際には13とか20とか色々ありますけれども、7R、3R以外に何をされるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>この3月に、ごみの減量化の基本のプラン、そして、環境プランを皆さん方にご審議してご承認いただきました。</p> <p>3Rというのは、リデュース、リユース、リサイクルを言うところ、皆さんお馴染みの通りでございますけれども、7Rというのは、リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル、リペア、リフォーム、リターンというこの7つでございます、しかしながら、やはり精神的に言えば、リデュース、リユースをしっかりとやって、そして、それができないものはリサイクルというのが、基本をいうことだと思っております。</p>
<p>部会長</p>	<p>今ありましたように、当然ながら、上流側から対策だてて、一番はリフューズだと思いますけど、リユース、リデュースというような形で主な対策を考えなくてはいけないと思います。</p> <p>それで、もう一つごみ減量化の主な対策のところですね、コンポストなどのいろんな補助。土へのバックということで、こ</p>

れはいろいろ話してきましたけども、なかなか減量ができてもたい肥化がなかなか難しい。

また、詳しくは専門部会で話したらいいんですけども、ならそれをどういうふうにしてですね、たい肥化はするんだけどその行き先をですね、どこで求めるか、そういったことも話していただければならないかなと思っております。

冒頭にですね、5 年を迎えて家庭系のごみは、削減率は下げ止まり、リバウンドというような分析されておりますけども、その辺ははっきりとした、何か。根拠的なものが、あるんでしょうかね。

また、当然ながら、なかなか目標に対しては遠い位置にあるというようなことに対して、この原因を探ることが一番なんですけれども、市としては、どういう分析をされているのかな。理由として。その原因をただ的確にとらえて、今後どうするかという形になるかと思えます。

一つはですね、最初の頃は、ダイエツト袋を製作・使用し、平均的な数量は無料配布、あとは有料ということでかなり緊張感をもって、いろいろ何かやっておられると思うんですけども、5 年経ったら慣れてしまったのかなという気がするんですよ。

その辺について、今言った市としてはどのような原因分析をされてますか。

事務局

今ほどの 11 ページの資料をスクリーンで映し出しております。

今、部会長のおっしゃったところを大きな要因というふうに私も思っております。

この 5 年前の 10 月に導入した指定袋制度の前は、先ほども申しました通りに、20 年度のごみ量に対して、27 年は、2.6%しか減っていなかった。これを小松市初の指定袋制度を導入して、45L の袋で言いますと、まずは年間 24 枚、市民の皆さんに無償で市があげます。ごみに対してもう既に取り組んでいるご家庭は、その袋で十分賄えます。こういう制度設計をさせていただきました。

	<p>実はそういった、ごみの減量に熱心な方は袋が余るという話も多くの皆さんからお聞きいたしました。</p> <p>しかしながら、実際この指定袋を買われる全体の数量も、それほど少ない数量ではないというのも現状でございます。そういったところの数値については、専門部会にお示しをした上で、専門部会の皆さんと一緒に、その原因等色々な事について考えていきたいと思っております。</p> <p>指定袋制度がスタートして最初の6ヶ月間は、25%のごみの削減が達成できております。</p> <p>それが実は、それ以降において、20%に落ち、そして18、19%に落ちてきて、少し緩みみたいなところが出たのかもしれませんが。そういったところにつきましても、専門部会の委員の皆さんとデータを全部出しながら、考えてみたいと、そういうふうに思っているところでございます。</p>
委員	<p>指定袋を配布するときに、プラスチックや容プラをきちっとリサイクルしましょうとか、紙はレシートくらいからリサイクルできるので分別しましょうとか言ってきましたが、その辺はどうなんでしょうか。それが原因でごみが増えているということになりますと、生ごみではそういった取組をしていないので、そういったところが緩んできているのかなと思うんですけどいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>今、ご専門の委員からも、その分析もお聞きいたしました。</p> <p>平成28年10月から古着古布の回収も始めたとか、容器包装プラスチックにつきましても、例えば、これが容器包装プラスチックになるという例示や、或いは組成調査の中から可燃ごみの中でプラスチック等がどの程度入ってるかをお示しし、混ぜればごみになりますが、分ければ資源になるということを、市民の皆さんにずっと説明会で、強く言って参りました。</p> <p>その成果もございまして、プラスチック製の容器包装につきましては、平成27年、指定袋を導入する前、496tであったものが、733tにまで増えました。</p>

	<p>これは、増加率が 1.5 倍になったというところでございます。ペットボトルにつきましても 64 t が 114 t ということで、すごく良く分別をしていただいたというふうに思っております。</p> <p>古着古布につきましても、26 t が 104 t になって、4 倍に増えたというようなところも実績としてございます。</p> <p>それ以外のところが少し緩んだのかなというようなところもございまして、また専門部会で、委員の皆さんと数字をしっかりと見て、なぜそうなったのか、今後それをどうしたらいいかというところについて、研究をお願いしたいというふうに思っております。</p>
会長	<p>委員が言っておりますコンポストの肥料をどこへ持っていかいという話があったかと思いますが、報告事項の中で肥料を買い上げるという項目が無かったか？</p>
事務局	<p>後ほどコンポストの補助金を、補助率 2 分の 1 を 3 分の 2 にして、上限を 7,000 円にアップするというのは報告事項 3 の中で説明いたしますが、確かに、コンポストでたい肥を作ってそのたい肥はというと、一戸建ての方であればある程度消化ができますが、それ以外の方については、少し難しいという課題はございます。</p> <p>そういったところにつきましても、専門部会の方で研究をして参りたいというふうに思っております。</p>
会長	<p>その報告事項 3 を先に言ってもらわねえいかないでしょうか。</p>
事務局	<p>(資料に基づき説明 P. 28～29)</p>
委員	<p>先ほどの質問の答えにはなっていないのではないかと。</p> <p>先ほどはコンポストで作ったたい肥の処理先がどこかにないのかという質問だったかと思うが、全然話が違う。</p> <p>コンポストを購入しても、そのコンポストの中身を処理する先が無いから誰も購入しないのではないかと。</p> <p>今、補助の話をしていただけではないと思う。</p>
会長	<p>どこかで買い上げするというのを見たのだが？</p>

事務局	<p>今回の審議事項二つ。</p> <p>そして、報告事項の中では、コンポストについては、ごみ量の削減に取り組もうというふうに思われる方が、負担なく取り組めるように、支援の金額の率を上げましたというところ迄でございます。</p> <p>できたものをどうするこうするということについては資料としてございませんので、今後、そういったところについても、専門部会で丁寧に研究をして参りたいというふうに説明させていただいております。</p>
委員	<p>コンポストは、購入してる人は何人かいるけれども、全部うちの近くにそのままになってしまっている。</p> <p>だから処理する場所がなければ、いくら、補助しても、購入する人は少ないのではと思う。市の方でやっぱり中身をどうするかということを具体的にやっば検討していただきたい。</p>
部会長	<p>コンポストの中身の処理先については、ごみダイエツトプロジェクトの中でも話しておりますので、次回の専門部会で討議して環境審議会の方へ検討結果をお答えしたい。</p>
委員	<p>去年もこの内容が出たはず。</p>
委員	<p>参考までに、今日の北國新聞に金沢市がたい肥化した生ごみの販売先が出ていた。</p> <p>小松市でもそういうふうに、できるような形で持っていかれるといいかと思っています。</p>
委員	<p>今回の今の審議事項の見直しについてですが、現状を見ていると新しい見直し制度は必要かなというふうに思います。</p> <p>私も専門部会に入っておりますので、専門部会でも色々と細かい部分もご質問したいと思います。</p> <p>私は金沢市に住んでおりますが、古着古布の回収は平成 28 年度から始めたとのことだが、資源のリサイクルとして行っているわけですね。通常のペットボトルやプラスチックごみの回収の頻度はどのくらいでしょうか。</p>
事務局	<p>小松市では、常設でリサイクルステーションを4ヶ所ご用意し</p>

	<p>てます。そこでは古着古布が、いつでも出されるようにしてございます。</p> <p>それぞれのご町内におきましても、月を決めたりして、衣替えの時期に合わせて、古着古布の回収もしていただいているところでございます。輪が他市に比べて広がったなというふうに喜んでいるところでございます。</p>
委員	<p>古着の量のごみの量としてはかなり悪くないように見える。</p> <p>同時に紙類、いわゆる雑紙といわれるものについても回収は、同じようリサイクルをされているのでしょうか。</p>
事務局	<p>新聞や、そして今委員がおっしゃいました雑紙は名刺サイズ以上のものは、紙として、出すことができますと、市民の皆さんに、ずっと啓発をいたしております。</p> <p>ただ、可燃ごみの袋の中の組成調査などをしてみますと、まだ相当数の紙ごみというのが混ざっていると、いったところもありますけれども、そういう資源の出しやすい環境づくり、そういうところは進めているところでございます。</p>
委員	<p>紙類が出すこともできるというのは、いつの段階でそういったのができるのでしょうか。</p>
事務局	<p>資源ごみを毎週ごとに、品目を変えて1ヶ月に1回、まずはそれぞれの町内で出すことができるようにしております。</p> <p>そして、先ほども言いましたリサイクルステーションの4ヶ所ございますけれども、そこにいつでも、持ってこられるようにしているということでございますし、一部、集団回収もされている町内もございますし、また学校でも回収しているところもあるということでございます。</p>
委員	<p>ごみダイエット袋は、45L以外のサイズはあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>5、6年前、制度を作るときにこの専門の皆さんに非常にたくさんのご意見をいただきまして、まずはLサイズ(45L)、そしてMサイズ(20L)、Sサイズ(12L)の3種類を持っていました。</p> <p>そして、制度を開始してから市民の要望などを聞いて、LとMの間に中間のサイズを作ってほしいとご要望がありまして、L</p>

	Mサイズ(30L)も用意して現在は4種類にて行っております。
委員	<p>金沢市では5Lというサイズありまして、実際に使っているのを私見たことがあります。</p> <p>週2回、ごみ出しがあると5Lで十分なところもあるような気がしている。</p> <p>また、専門部会がありますので。</p>
事務局	金沢市の事情等もお詳しいので、また、専門部会等でそういったご意見をいただけたらと思います。
委員	<p>冒頭の市長が言っていましたゼロカーボンシティ宣言についてお聞きしたい。</p> <p>当然、今、お話になったごみ削減はですね、環境的には二酸化炭素削減とかそういうところに繋がっていきます。それがゼロカーボンシティに繋がっている。</p> <p>カーボンニュートラルでは、発生した二酸化炭素は、植物や樹木とかに吸収してもらって、実質0とそういうことですけど。</p> <p>いろいろみていましたらゼロカーボンシティを宣言した国は引き続きですね、ブルーカーボンといったことに注目して、ずばり海の藻や海藻、貝類。それから、植物性プランクトン。沼とか湖沼にもですね。そういった植物も当てはまりますけども、そこでどんどん二酸化炭素を取り込んでもらって、実質的な二酸化炭素発生を少なくする、カーボンニュートラルに繋がるといことで、また、グリーンカーボンはですね、二酸化炭素削減というような形にして、参入いうことはできるんですけども、ブルーカーボンをまだ認められてないんですけども、どうぞ、先ほど言いましたように、ゼロカーボンシティを宣言したところはですね、そういうのは認められてないけども、研究とか、実質的にはそこで二酸化炭素吸収するのだからということですね。</p> <p>ゼロカーボンに目を付けて取り組んでいる県とか市が非常に多いわけですね。</p> <p>小松市としてはそんなところまで考えておられるでしょうか。</p>

事務局	<p>2050年に、カーボンニュートラルを目指すといったところ8月24日に、表明したところをごさいますて、これを達成するのは、非常に難しいというのは、認識をしております。</p> <p>できるところからやっていくということが、まずは大切というふうに思っております、今、委員がおっしゃいましたように、二酸化炭素を減らす取り組みと、二酸化炭素を吸収する取り組みと、まずはセットで取り組むというのが肝要と思っております。そしてもう一つは、その二つを達成するための技術革新、イノベーション、やはりこれを待つというところも必要になってくるのかなというふうに思っております、先ほどの藻のお話も、単に勉強した程度でございますが、またその辺りも教えていただければなというふうに思っております。</p> <p>よろしくお願ひします。</p>
会長	<p>たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>議案第1号に向けて専門部会で検討いただくことを承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(承認)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、議案第2号「第2次地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の見直しについて」事務局より説明願ひます。</p>
事務局	<p>(資料に基づき説明 P.25～27)</p>
会長	<p>ただ今の議案について、ご意見、ご質問をお願いいたします。</p>
委員	<p>今の議案っていうのは、これは着手しますよっていうことだけのアナウンスと理解してよろしいですか。</p> <p>何を審議するのかなと思ひまして。</p>
事務局	<p>はい。そのとおりです。今後、国の動向を見ながら計画の変更に着手したいと考えているということである。</p>
委員	<p>今、この場でディスカッションする話ではないですね。</p>
事務局	<p>その通りですね。お知らせ程度になると思ひます。</p>
会長	<p>削減計画いろいろこれまで審議してきましたけれども、一つの</p>

	<p>ネックは電力の使用量が分からなくなっていたのですが、あれはもう、わかるようになったのでしょうか。</p>
事務局	<p>北陸電力からの電気使用量につきましては、小松市内の使用状況につきましては、平成 28 年からのデータが見られなくなりましたが、去年から北陸電力よりいただけることになりました。それをもって、市内のCO₂の削減、CO₂の排出状況がわかるというふうになりました。今後とも引き続き、北陸電力からいただけるというふうになってございます。</p> <p>その面は大丈夫かなと思っております。</p>
会長	<p>目標の率が変わったということで、また、早急にできる限りの計画を立てなければいけないと思います。</p> <p>よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、議案第 2 号について、承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(承認)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは報告事項に移らせていただきますが、報告 1、2 につきましては市長よりご説明をいただきました。また、報告 3 につきましては、先ほど、ご説明いただきましたので、報告 4「小松市役所地球温暖化対策実行計画について」事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>(資料に基づき説明 P. 30～40)</p>
会長	<p>ただ今の説明について、ご意見、ご質問をお願いいたします。</p> <p>市役所の取組みについては非常に良いと思いますが、民間への宣伝などは考えておりますでしょうか。</p>
事務局	<p>地球温暖化に対するとフォーラムみたいなものを開催しまして、事業者などから先進事例を紹介する中で、市の取組みについてもお知らせできたらなと考えております。</p>
委員	<p>このように公的機関が示されているのは素晴らしいと思います</p>

	<p>が、全体目標や数値目標が直近の実績で結構高い数値でクリアされている。</p> <p>前期目標ももう達しているような数値もあるようにみえますが、見直しの際に、前期目標も高い計画に見直しをされるのでしょうか。</p>
事務局	<p>今、この目標自体が、2030年35%というふうになってございまして、国のも、先ほど申しました国の目標の方が46%という数字になるものですから、市の方の計画も、40後半のような計画になるかなと思います。</p> <p>それに合わせて、中間目標の方も必然的に、上に上がるのかな。いうふうには思っております。</p>
委員	<p>今、示されている数値はこのままではなく変えられる。</p>
事務局	<p>その通りです。</p>
会長	<p>うちのファックスですけど、送られてきたものはそのまま紙で出されず、画面でチェックし、いらぬものは削除していく。</p> <p>今のファックスはそのように変わっていますよね。</p> <p>プリンターの方はインクの余分なものが溜まっていて、使いすぎると消耗が早くなって、機器自体の消耗が早くなるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>市役所の場合、コピー機はリースとなっておりますので、当然コピーカウンターにて、お金を支払うこととなるのですが、コピーだと大体@1.6円ぐらい。</p> <p>プリンターだと、トナーなどを定期的に交換するのですが、その費用も含めても@0.26円となっておりますので、プリンターの方がかなり安いということで、プリンターの方にしております。</p> <p>それでも、更に、プリンターもやめて、画面上にて見るように変わってきている。</p>
会長	<p>現在、画面上で見る事が増えてきておりますが、今度は情報量が多すぎる、それから情報漏洩に注意しなければいけない。どこにデータを取り込んだが分かるようにしなければいけない面もある。また、パソコンなどの機器の不具合で見られなくなる</p>

	<p>などいろいろ問題もあるとは思いますが。それに慣れていく必要もあるとは思っておりますが。</p> <p>特に質問事項はございませんか。</p> <p>それでは、報告事項を終わります。</p> <p>その他、事務局から何かありますか。</p>
事務局	特にありません。
会長	<p>委員の皆様から何かご意見はございませんか。</p> <p>特にないようですので、これをもちまして、審議会を終了したいと思います。委員の皆様には、ご意見をいただきありがとうございました。それでは、進行の方を事務局へお返ししたいと思います。</p>
事務局	<p>会長には、進行ありがとうございました</p> <p>それでは、以上をもちまして、小松市環境審議会を閉会します。ありがとうございました。</p>